

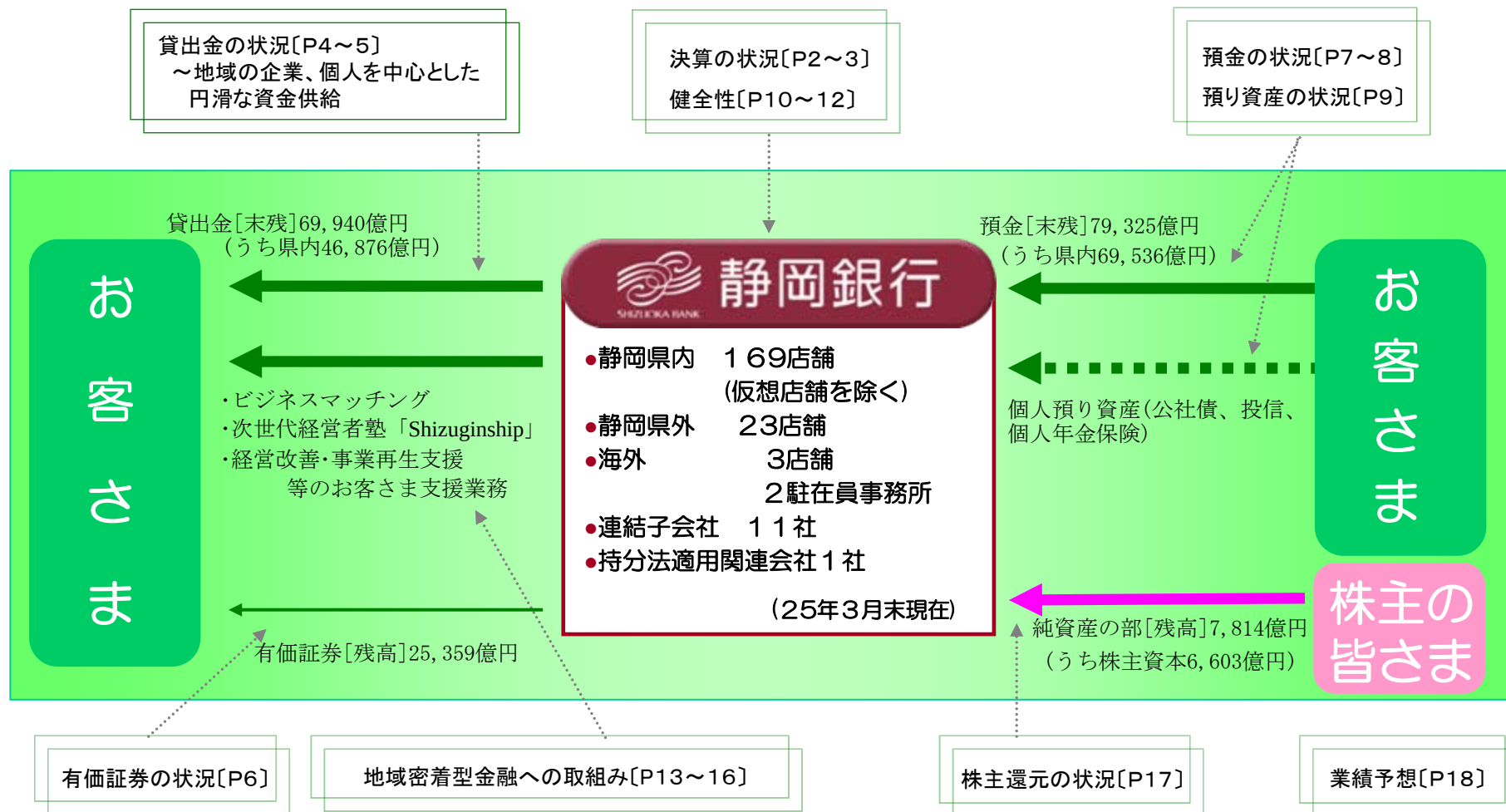
地域のお客さまとともに

～平成24年度決算ハイライト～



地域のお客さまとともに

- 静岡銀行では、株主の皆さまからご出資いただいた資金、お客さまからお預りした資金をもとに、静岡県を中心としたお客さまへご融資を行い、暮らしや事業の夢の実現のお手伝いをするとともに、地域密着型金融への取組みなどを通じて地域経済の持続的な発展に貢献することを経営の基本姿勢としています。



※本資料の金額等は原則として単位未満を四捨五入しています。

また、本資料における予想値については、現時点で入手可能な情報に基づき判断したものであり、実際の業績はこれらの予想値と異なる結果となる可能性があります。



決算の状況(連結)

(億円、%)

《連結決算の状況》	24年度	前期比	
		増減額	増減率
連結経常収益	2,031	△20	△1.0
連結経常費用(△)	1,318	△45	△3.3
連結経常利益	713	+25	+3.6
連結当期純利益	570	+198	+53.2

連結経常収益	前期比△20億円減収(5期連続)
--------	------------------

連結経常費用	前期比△45億円減少
--------	------------

連結経常利益	前期比+25億円増益(4期連続)
--------	------------------

連結当期純利益	前期比+198億円増益(4期連続)
---------	-------------------

《連結子会社(11社)》

静銀経営コンサルティング(株)
 静銀リース(株)
 静岡コンピュータサービス(株)
 静銀信用保証(株)
 静銀ディーシーカード(株)
 静岡キャピタル(株)
 静銀ティーエム証券(株)
 静銀総合サービス(株)
 静銀モーゲージサービス(株)
 静銀ビジネスクリエイト(株)
 欧州静岡銀行

《持分法適用関連会社》

静銀セゾンカード(株)

- 連結経常収益は、資金運用収益の減少(△66億円)を主因に前期比△20億円の2,031億円となりました。
- 連結経常費用は、金融派生商品費用(△21億円、主に債券ヘッジ取引)および経費(△21億円)の減少を主因に前期比△45億円の1,318億円となりました。
- この結果、連結経常利益は、前期比+25億円の713億円、また、連結当期純利益は負ののれん発生益の計上(129億円)、法人税等負担減少(△37億円)などにより前期比+198億円の570億円となりました。



決算の状況(単体)

(億円、%)

《静岡銀行単体の状況》	24年度	前期比	
		増減額	増減率
経常収益	1,710	△38	△2.2
業務粗利益	1,463	△20	△1.4
資金利益	1,203	△70	△5.5
役務取引等利益	149	+2	+1.3
特定取引利益	10	+10	+2,629.9
その他業務利益	100	+38	+61.4
(うち国債等債券関係損益)	97	+23	+30.9
(うち金融派生商品損益)	△3	+21	+88.9
経 費 (△)	787	△24	△3.0
基礎的業務純益※1	579	△19	△3.2
実質業務純益※2	676	+4	+0.6
一般貸倒引当金繰入額 (△)	—	—	—
業務純益	676	+4	+0.6
臨時損益	△24	+25	+50.9
うち不良債権処理額 (△)	5	△5	△49.3
うち貸倒引当金戻入益	4	△3	△48.3
うち株式等関係損益	△6	+23	+79.1
経常利益	652	+29	+4.6
特別損益	△4	△4	△1,209.5
税引前当期純利益	648	+25	+4.0
法人税等合計 (△)	239	△38	△13.6
当期純利益	409	+62	+18.0

※1 基礎的業務純益＝業務純益＋一般貸倒引当金繰入額－国債等債券関係損益

※2 実質業務純益＝業務純益＋一般貸倒引当金繰入額

経常収益 前期比△38億円減収(5期連続)

- 経常収益は、資金運用収益の減少(△65億円)を主因に、前期比△38億円の1,710億円となりました。

業務粗利益 前期比△20億円減益(3期連続)

- 業務粗利益は、国債等債券関係損益を中心としたその他業務利益の増加(+38億円)、特定取引利益の増加(+10億円)等があったものの、資金利益の減少(△70億円)により、前期比△20億円の1,463億円となりました。

業務純益 前期比+4億円増益(2期振り)

- 業務純益は、物件費(うち減価償却費△8億円、預金保険料△8億円)を中心とする経費の減少(△24億円)により、前期比+4億円の676億円となりました。

経常利益 前期比+29億円増益(4期連続)

- 経常利益は、株式等関係損益の改善(+23億円)を主因に、前期比+29億円の652億円となりました。

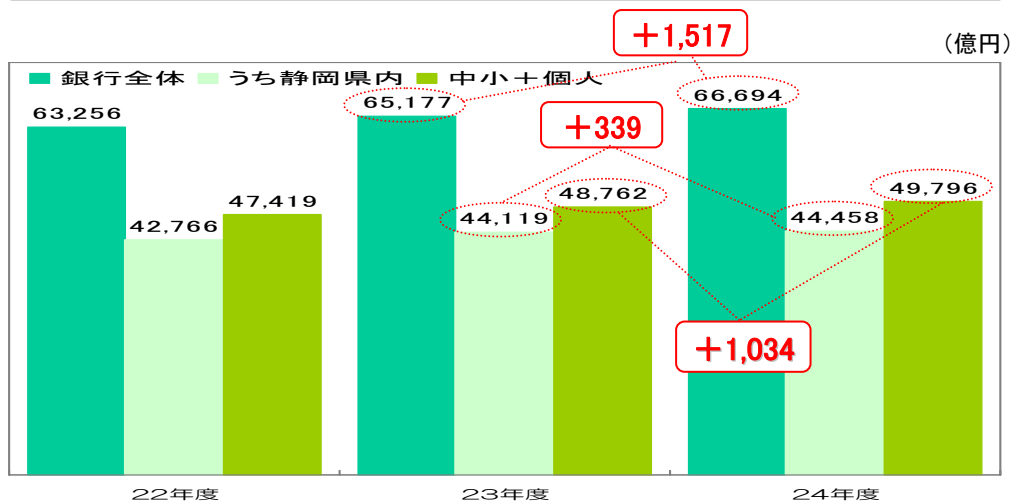
当期純利益 前期比+62億円増益(2期振り)

- 当期純利益は、特別損益は悪化(△4億円)したものの、法人税等負担の減少(△38億円)があり、前期比+62億円の409億円となりました。



貸出金の状況①

貸出金残高(平残)の推移



●24年度の貸出金残高(平残)は、66,694億円と前期比+1,517億円(年率+2.3%)の増加となりました。

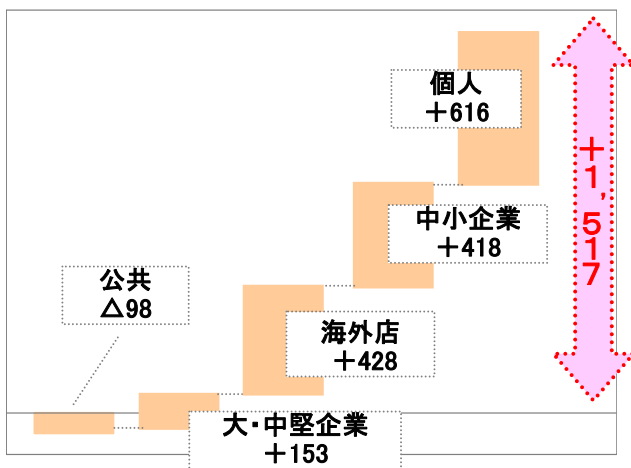
貸出金残高(平残)増加の主な内訳は以下のとおり

- ・ 中小企業向け +418億円(年率+1.6%)
- ・ 個人向け +616億円(年率+2.7%)

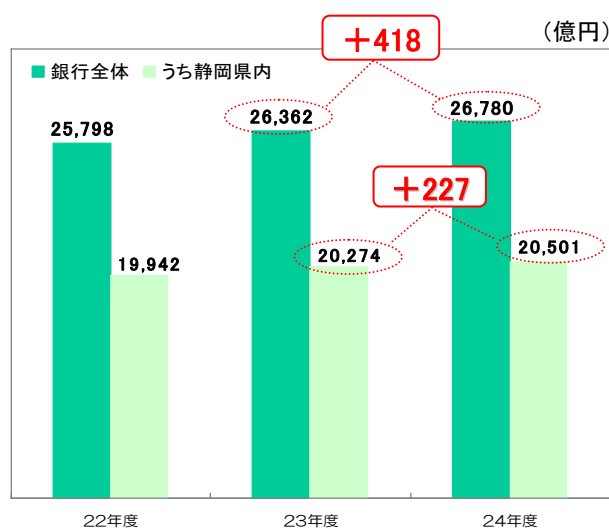
なお、中小企業向けに個人向けを加えた増加額は+1,034億円(年率+2.1%)となりました。

企業規模別 貸出金残高(平残)の増減

【貸出金増減額内訳(前年度比)】 (億円)

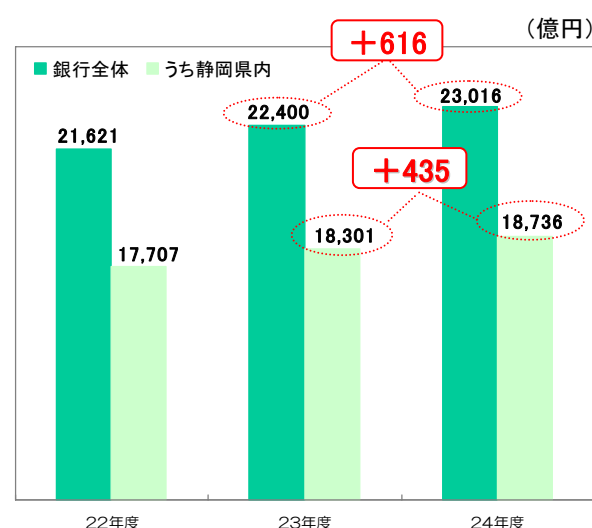


うち中小企業向け貸出金残高(平残)の推移



※地方公社を含みません。

うち個人向け貸出金残高(平残)の推移

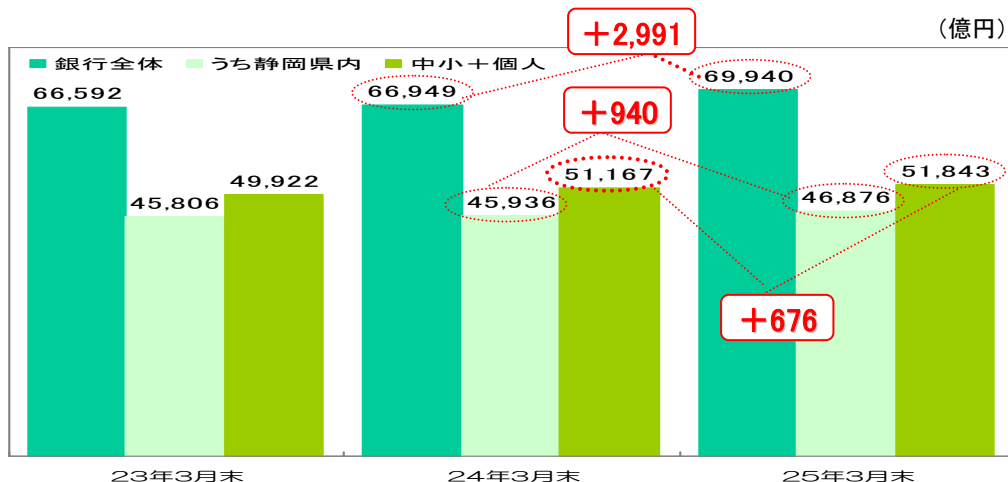


※アパートローンを含みます。



貸出金の状況②

貸出金残高(末残)の推移



●25年3月末の貸出金残高(末残)は、69,940億円と前期末比+2,991億円(年率+4.5%)の増加となりました。

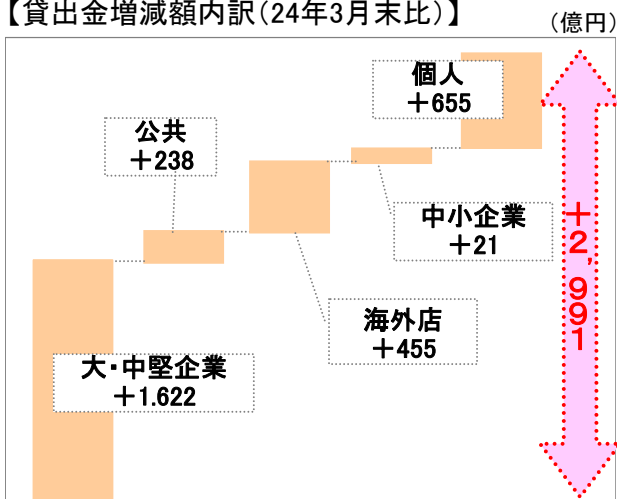
貸出金残高(末残)増加の主な内訳は以下のとおり

- ・大・中堅企業向け+1,622億円(年率+12.9%)
- ・個人向け+655億円(年率+2.9%)

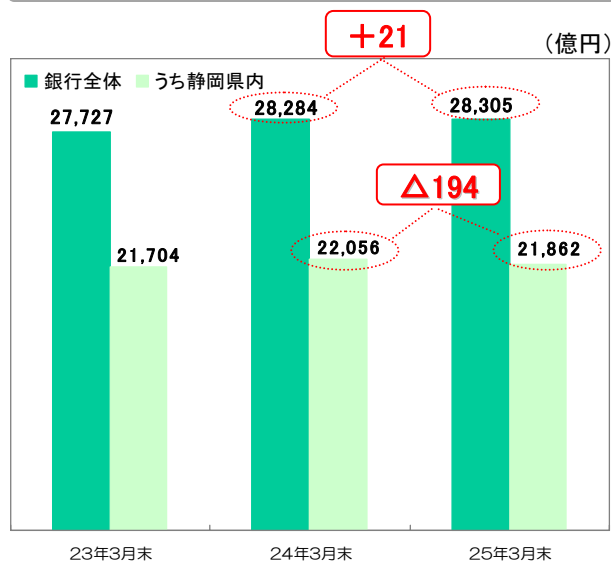
なお、中小企業向けに個人向けを加えた増加額は+676億円(年率+1.3%)となりました。

企業規模別 貸出金残高(末残)の増減

【貸出金増減額内訳(24年3月末比)】

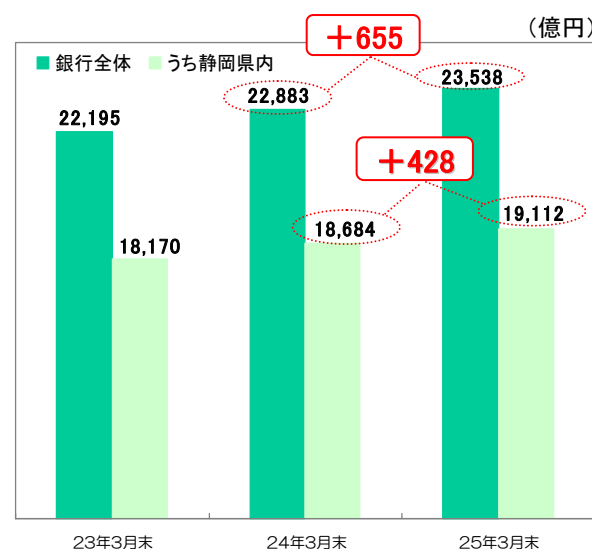


うち中小企業向け貸出金残高(末残)の推移



※地方公社を含みません。

うち個人向け貸出金残高(末残)の推移



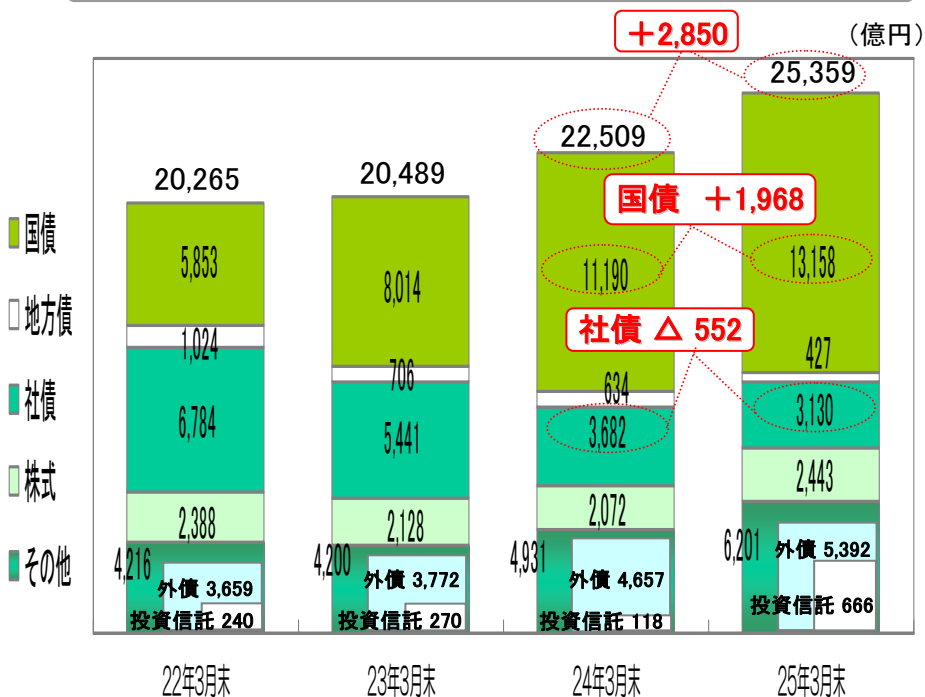
※アパートローンを含みます。



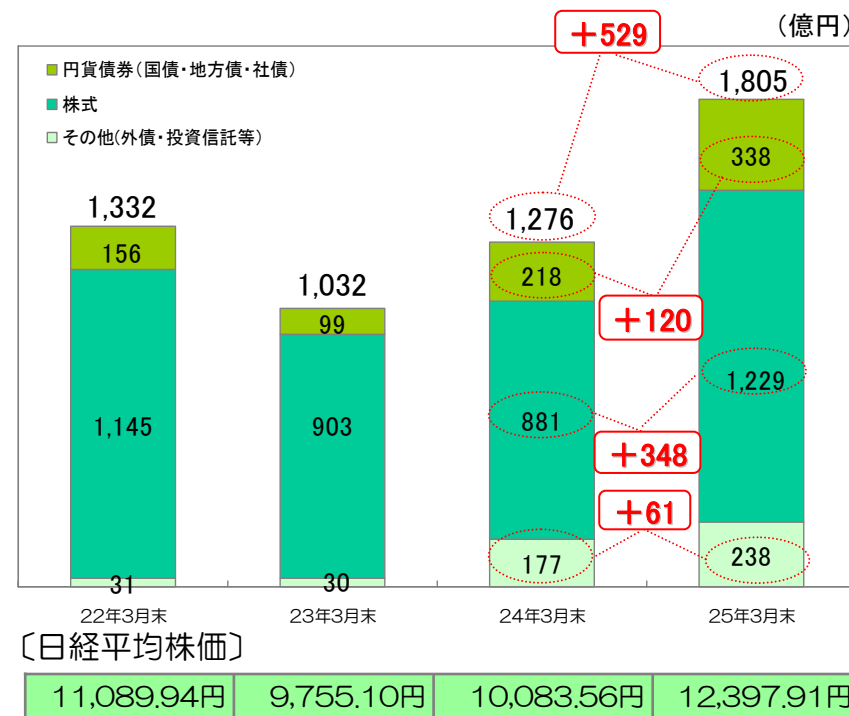
有価証券の状況

- 25年3月末の有価証券残高は、国債の増加を主因に前期末比+2,850億円の25,359億円となりました。
- 25年3月末の有価証券評価損益は、前期末比+529億円の1,805億円となりました。株式が+348億円、円貨債券が+120億円、その他（主に投資信託）が+61億円増加しました。

有価証券残高の推移



有価証券評価損益の推移



有価証券平均残存期間の推移

- 相場動向に応じた機動的な対応により、収益性および健全性の向上に努めています。

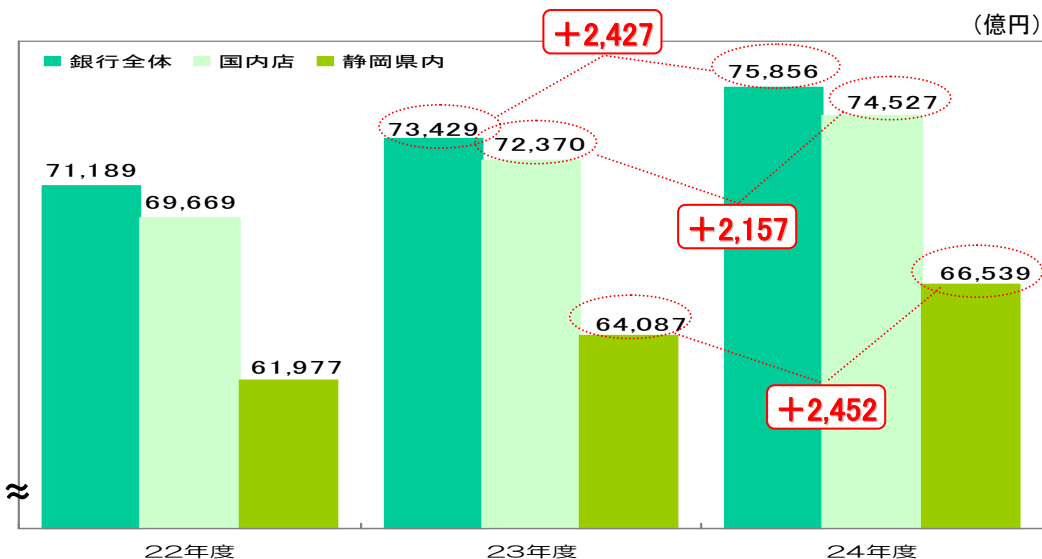
	22年3月末	23年3月末	24年3月末	25年3月末
円貨債券	4.73年	5.03年	5.25年	5.24年
外貨債券	2.60年	2.18年	3.45年	3.97年

※ 24年3月末より、従来のベンダーシステムに代えて行内管理システムにより算出する計数の使用を開始しましたが、影響は軽微であります。



預金の状況①

預金残高（平残）の推移



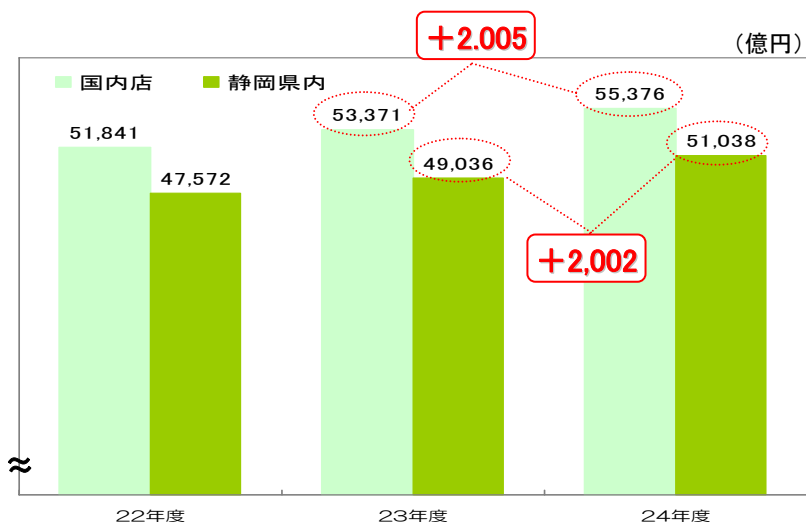
- 24年度の預金残高(平残)は75,856億円と前期比+2,427億円(年率+3.3%)の増加となりました。

預金残高(平残)増加の主な内訳は以下のとおり

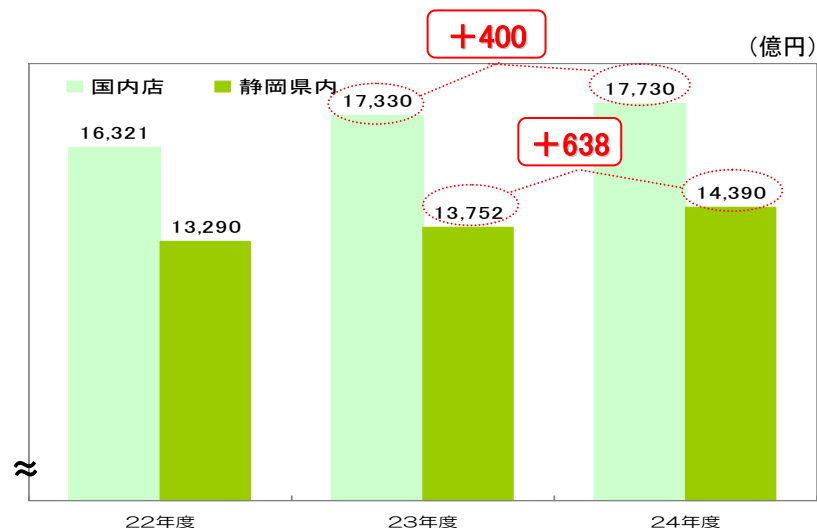
国内営業店※	+2,157億円	(年率 +3.0%)
うち静岡県内※	+2,452億円	(年率 +3.8%)
うち個人※	+2,005億円	(年率 +3.8%)
うち法人	+400億円	(年率 +2.3%)
東京オフィスア	+45億円	(年率+10.8%)
海外店	+226億円	(年率+35.1%)

※インターネット支店+1,309億円を含んでおります。

うち個人預金残高(平残)の推移



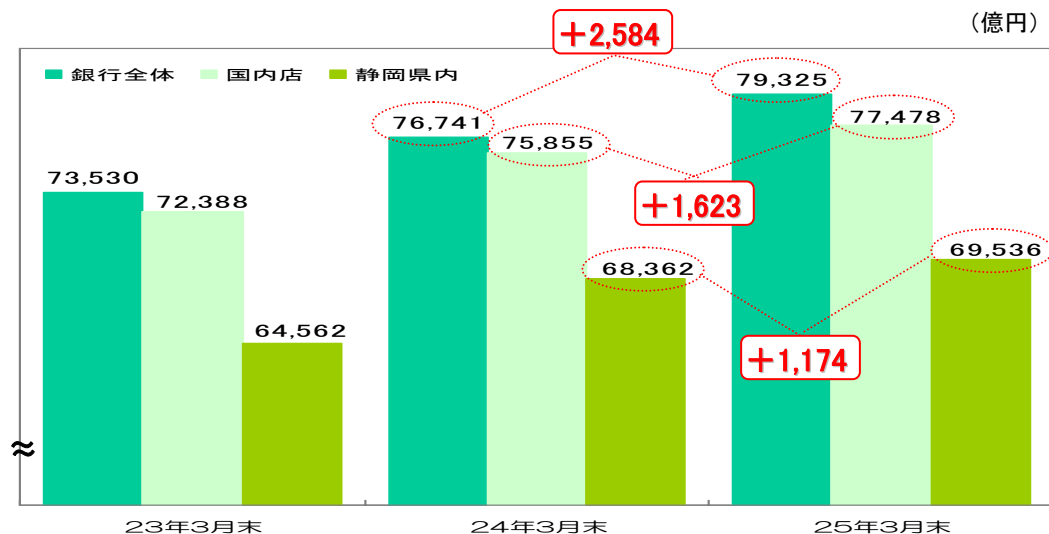
うち法人預金残高(平残)の推移





預金の状況②

預金残高(末残)の推移



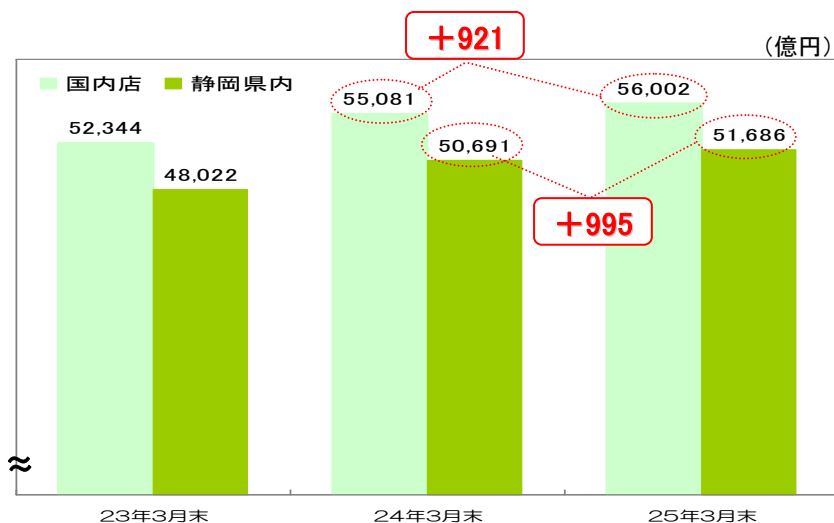
- 25年3月末の預金残高(末残)は79,325億円と前期末比+2,584億円(年率+3.4%)の増加となりました。

預金残高(末残)増加の主な内訳は以下のとおり

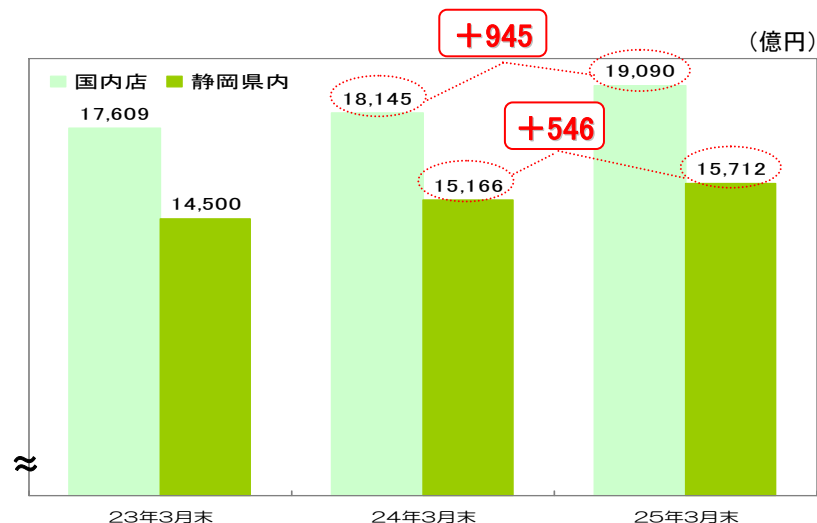
国内営業店※	+1,623億円	(年率 +2.1%)
うち静岡県内※	+1,174億円	(年率 +1.7%)
うち個人※	+921億円	(年率 +1.7%)
うち法人	+945億円	(年率 +5.2%)
東京オフショア	+773億円	(年率+447.6%)
海外店	+187億円	(年率 +26.2%)

※インターネット支店+708億円を含んでおります。

うち個人預金残高(末残)の推移



うち法人預金残高(末残)の推移

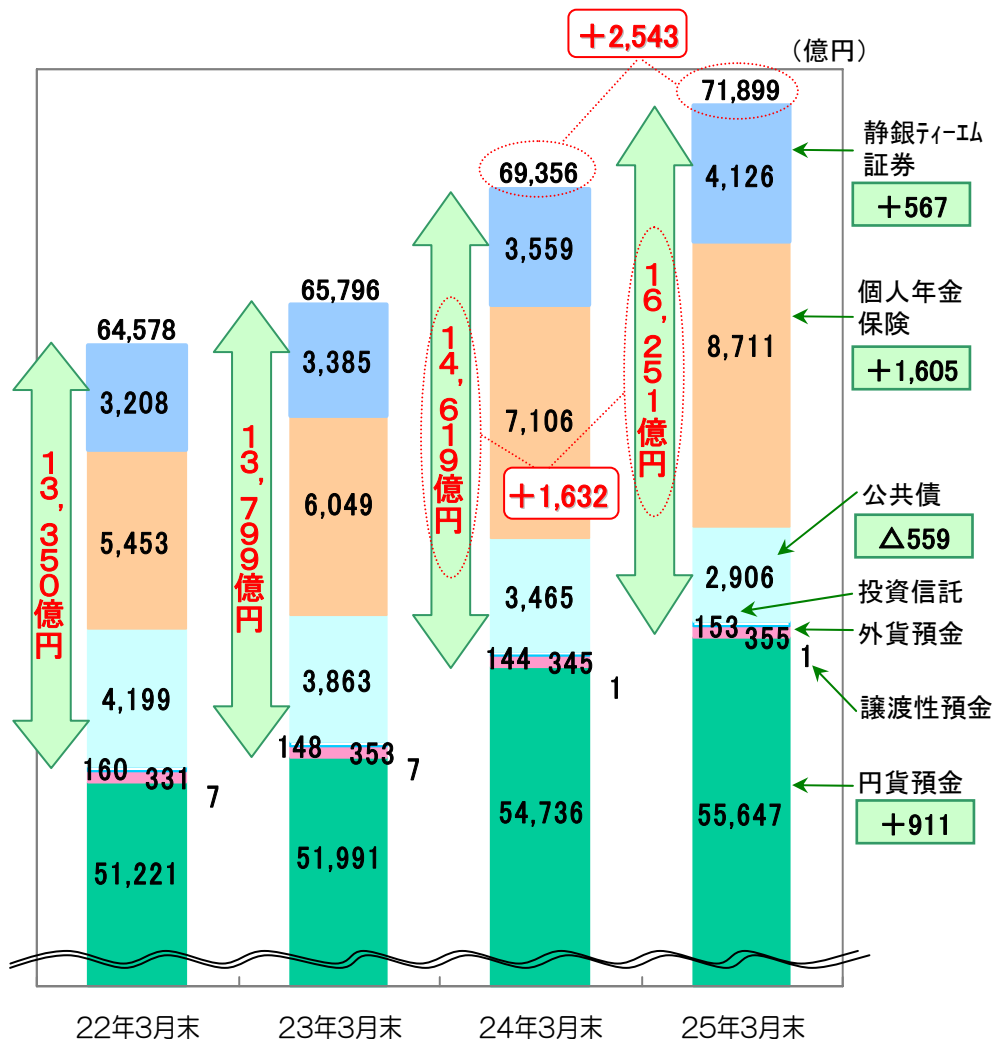




預り資産の状況

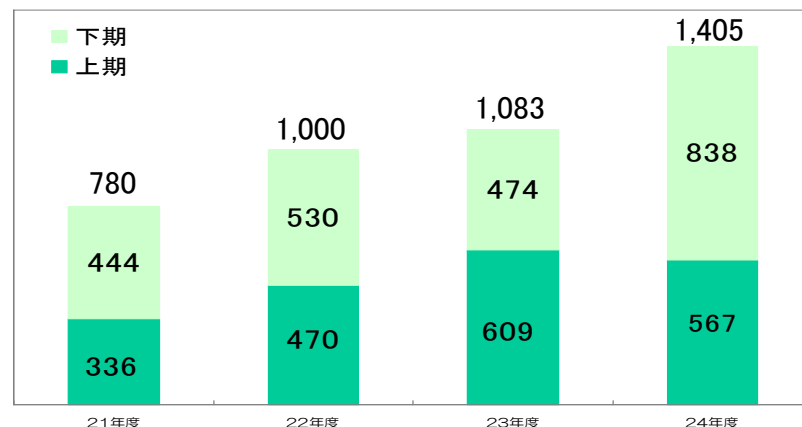
- 25年3月末の静銀ティーエム証券㈱を含む個人預り資産残高は71,899億円(前期末比+2,543億円)、また、資産運用商品(円貨預金・譲渡性預金を除く個人預り資産)残高は16,251億円(同+1,632億円)となりました。

個人預り資産(末残)の推移

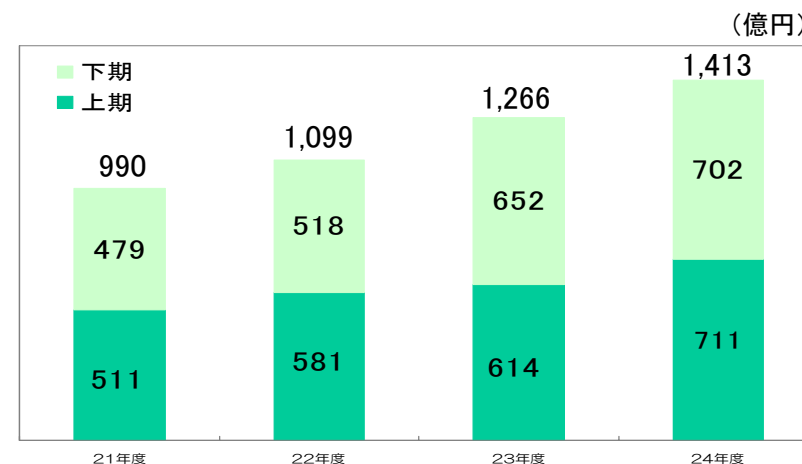


投資信託販売額の推移

- 主として静銀ティーエム証券にて販売



個人年金保険販売額の推移





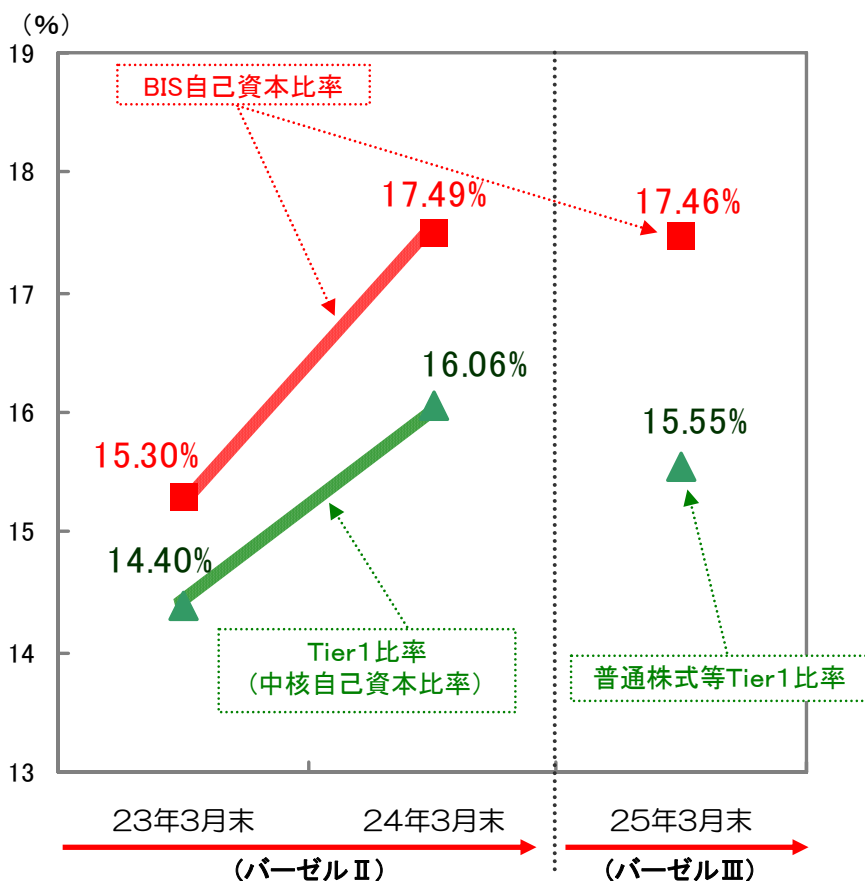
健全性① ～自己資本比率の状況

- ・静岡銀行は、自己資本比率規制(第1の柱)に関する告示(平成18年金融庁告示第19号)の一部改正にともない、平成25年3月末より、バーゼルⅢ基準による自己資本比率を算出しています。
- ・バーゼルⅢによるBIS自己資本比率(連結ベース)は、17.46%となりました。また、普通株式に係る株主資本等を中心とした普通株式等Tier1比率は15.55%となりました。

※1 バーゼルⅢへの移行にともなう経過措置に基づく比率です。

※2 リスク・アセットの計算方法は、信用リスクについては基礎的内部格付手法、オペレーショナル・リスクについては粗利益配分手法を採用しています。

BIS自己資本比率(連結ベース)



自己資本およびリスク・アセット等の推移

	(億円)		(億円)
【バーゼルⅢ】	25年 3月末	【ご参考】 【バーゼルⅡ】	24年 3月末
自己資本(注)	7,685	自己資本(注)	7,199
普通株式等Tier1	6,843	Tier1	6,459
その他Tier1	—	Tier2	633
Tier2	842	控除項目(△)	45
リスク・アセット	44,001	リスク・アセット	41,148
信用リスク・アセットの額	40,932	信用リスク・アセットの額	38,004
マーケット・リスク相当額に係る額	115	マーケット・リスク相当額に係る額	142
オペレーショナル・リスク相当額に係る額	2,954	オペレーショナル・リスク相当額に係る額	3,036

(注) 優先株式、劣後債等を含んでいません。



健全性② ～与信関係費用の状況

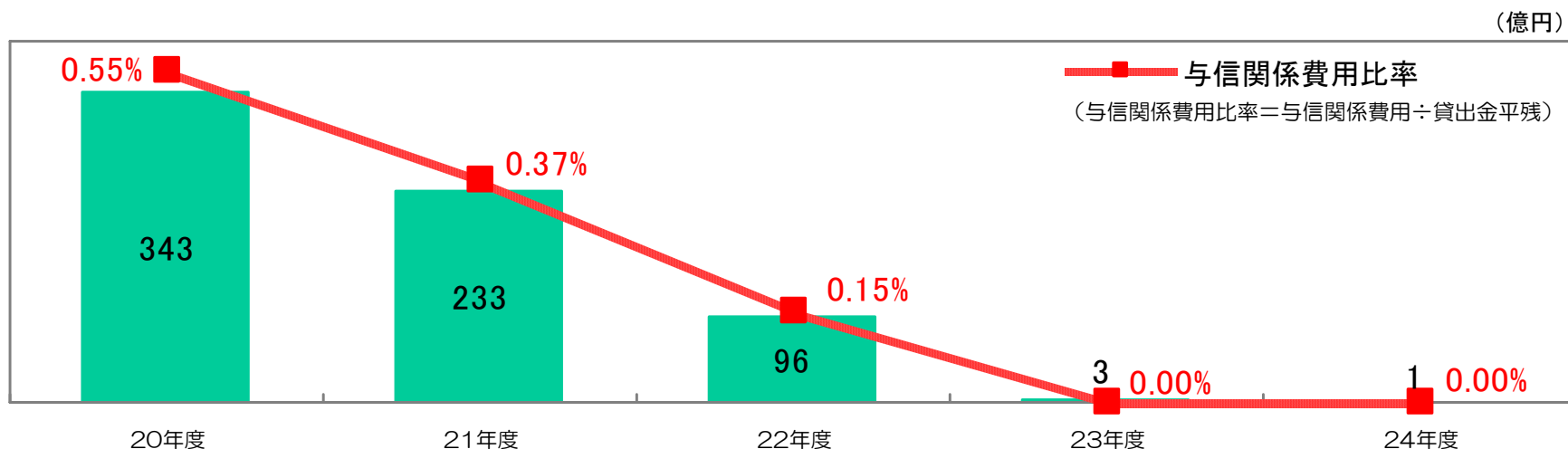
与信関係費用：24年度1億円(前期比△2億円)

《与信関係費用の内訳》	24年度 (ネットting後)	24年度 (ネットting前)	前期比
一般貸倒引当金繰入額 ①	—	△45億円	△7億円
不良債権処理額※1 ②	5億円	47億円	+5億円
うち個別貸倒引当金繰入額	—	41億円	+10億円
貸倒引当金戻入益※2 ③	4億円	—	—
合 計 ①+②-③	1億円	1億円	△2億円

- ・ 債務者区分の変更等 110億円
- ・ 担保評価下落 6億円
- ・ 格上、回収等による取崩 △75億円

※1 不良債権処理額には信用保証協会責任共有制度に関する偶発損失引当金繰入額などを含みます。
 ※2 貸倒引当金戻入益は一般貸倒引当金繰入額と個別貸倒引当金繰入額をネットtingしたものです。
 ※3 前期において貸倒引当金計上基準を変更しています。

与信関係費用・与信関係費用比率の推移





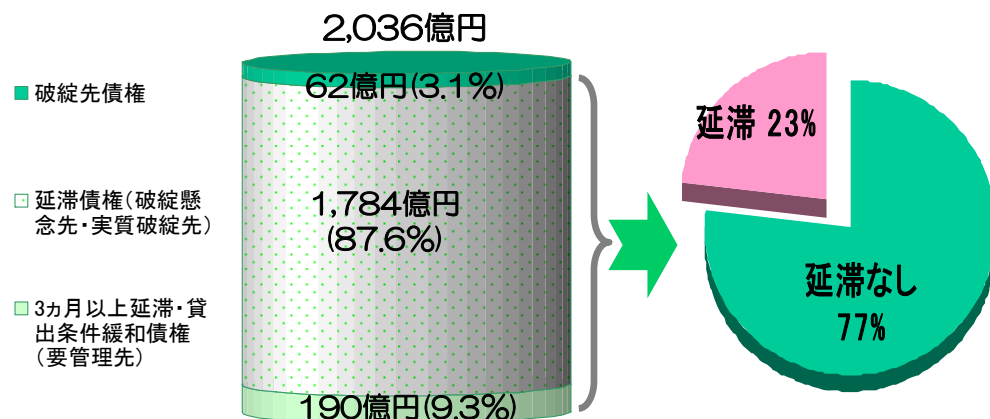
健全性③ ～不良債権の状況

リスク管理債権の状況（単体ベース）

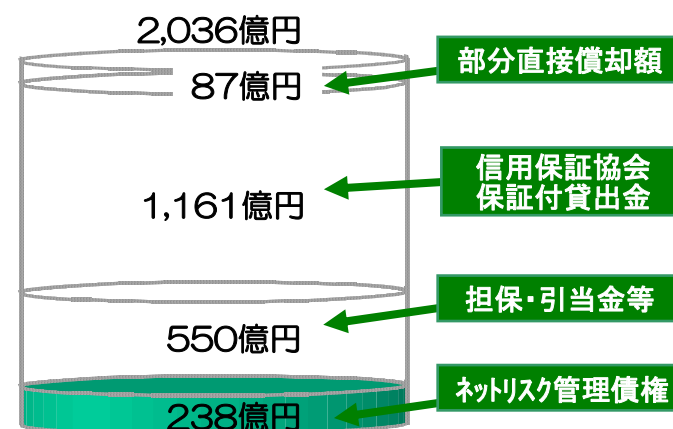
- リスク管理債権 2,036億円（前期末比 △249億円）
- リスク管理債権比率 2.91%（ // △0.5ポイント）
- ネットリスク管理債権 238億円（ // +26億円）
- ネットリスク管理債権比率 0.34%（ // +0.02ポイント）

※ネットリスク管理債権＝リスク管理債権－部分直接償却－信用保証協会保証付貸出金－担保・引当金等

25年3月末リスク管理債権の内訳



ネットリスク管理債権



不良債権のオフバランス化実績

	21年度	22年度	23年度	24年度
新規発生	+977	+721	+529	+465
オフバランス化 (うち破綻懸念先以下)	△764 (△695)	△591 (△551)	△669 (△607)	△714 (△669)
リスク管理債権	2,295	2,425	2,285	2,036

△249億円

(億円)

〔465億円の内訳〕

(億円)

要管理先	59
破綻懸念先	309
実質破綻先・破綻先	97

〔669億円の内訳〕

(億円)

本人弁済・預金相殺	111
担保処分・代位弁済	211
格上	231
債権売却	113
直接償却	3



地域密着型金融への取組み①

- 静岡銀行グループでは、「基本理念“地域とともに夢と豊かさを広げます。”」の実践を通じて、地域との共生による持続的成長を実現する。」を基本的な方針として、地域密着型金融を推進しています。
- 特に「ビジネスマッチング」「次世代経営者塾『Shizuginship』の運営」および「経営改善・事業再生支援」を3つの柱として取り組んでいます。また、第11次中期経営計画の基本戦略の1つ「『先進性』『提案・解決力』を通じた成長の実現」に向けて、「取引先のアジア進出支援」や「事業承継支援」にも積極的に取り組んでいます。

ビジネスマッチング

静岡銀行グループのネットワークを活用した
お客さまニーズのマッチングによる業容拡大支援



▲「スーパーマーケット・トレードショー2013」に「静岡夢街道」を合同出展(25年2月13～15日)

Shizuginship

次世代を担う静岡県内の経営者、後継者、
実務担当者の皆さまに、
研鑽と交流の「場」を提供



▲平成24年度全体フォーラムを開催
(25年2月14日)

経営改善・事業再生支援

業績低迷等により経営改善や事業
再生を必要とするお客さまの支援



▲地域密着型金融への取組みで東海財務局から
顕彰(25年3月8日)

ビジョンの実現

お客さまとともに地域の未来を切り拓く総合金融グループ
～Challenge for the Future

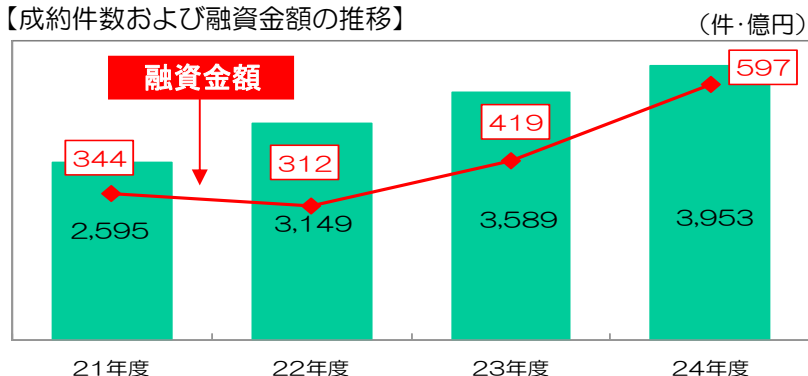


地域密着型金融への取組み②

- ビジスマッチング、次世代経営者塾「Shizuginship」、経営改善・事業再生支援および事業承継支援の具体的な成果・実績は以下のとおりです。

ビジスマッチング

【成約件数および融資金額の推移】

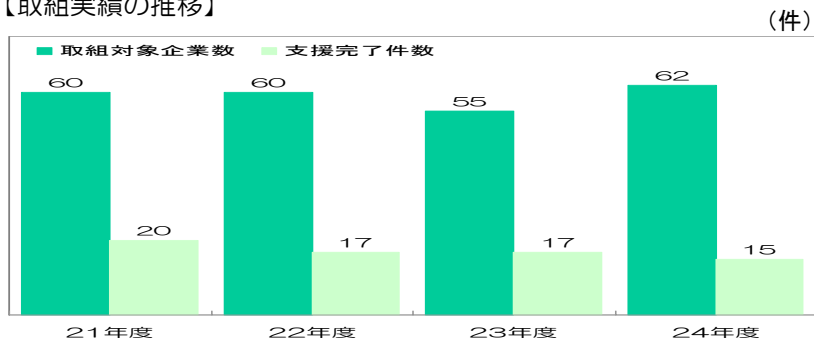


主な商談会

- しずぎん@gricom (24年7月、67社出展)
- スーパーマーケット・トレードショー (25年2月、44社出展)

経営改善・事業再生支援への取組み

【取組実績の推移】



- このほかに、24年度より、金融円滑化法出口戦略の一環として、事業再生が困難なお客さまが事業転換・清算を行うための相談業務にも注力しています。

次世代経営者塾「Shizuginship」

- 会員数：855社／1,287名 (25年3月末現在)
- 地域経済の将来を担う人材の育成支援とともに、各種イベントの開催、Webサービスによる情報提供などにより、会員の皆さまの事業発展をサポートしています。

24年度の活動実績 (会員参加人数 のべ 2,575名)

内容	開催実績
全体フォーラム	1回
地域フォーラム	3回 (東部・中部・西部)
セミナー (著名な経営者や専門家による講演会)	10回
ゼミナール (テーマ別に連続開催する講座)	46回 (40講座)
Miniゼミナール	1回 (1講座)
視察	3回

事業承継支援への取組み

- 中堅・中小企業が直面する事業承継、事業継続問題に対し、静岡県事業引継ぎ支援センターなどの外部機関とも連携して対応しています。
- 平成24年度は、M&Aなどの手法を活用し、613件の事業承継支援に取り組み、株式購入資金など事業承継支援に関連した201億円の融資にも対応しました。

【平成24年度の主な取組実績】

内容	実績
事業承継支援取組件数	613件
コンサルティング契約件数 (※)	65件
M&A成約件数	13件
事業承継に関連する融資件数／金額	155件／201億円

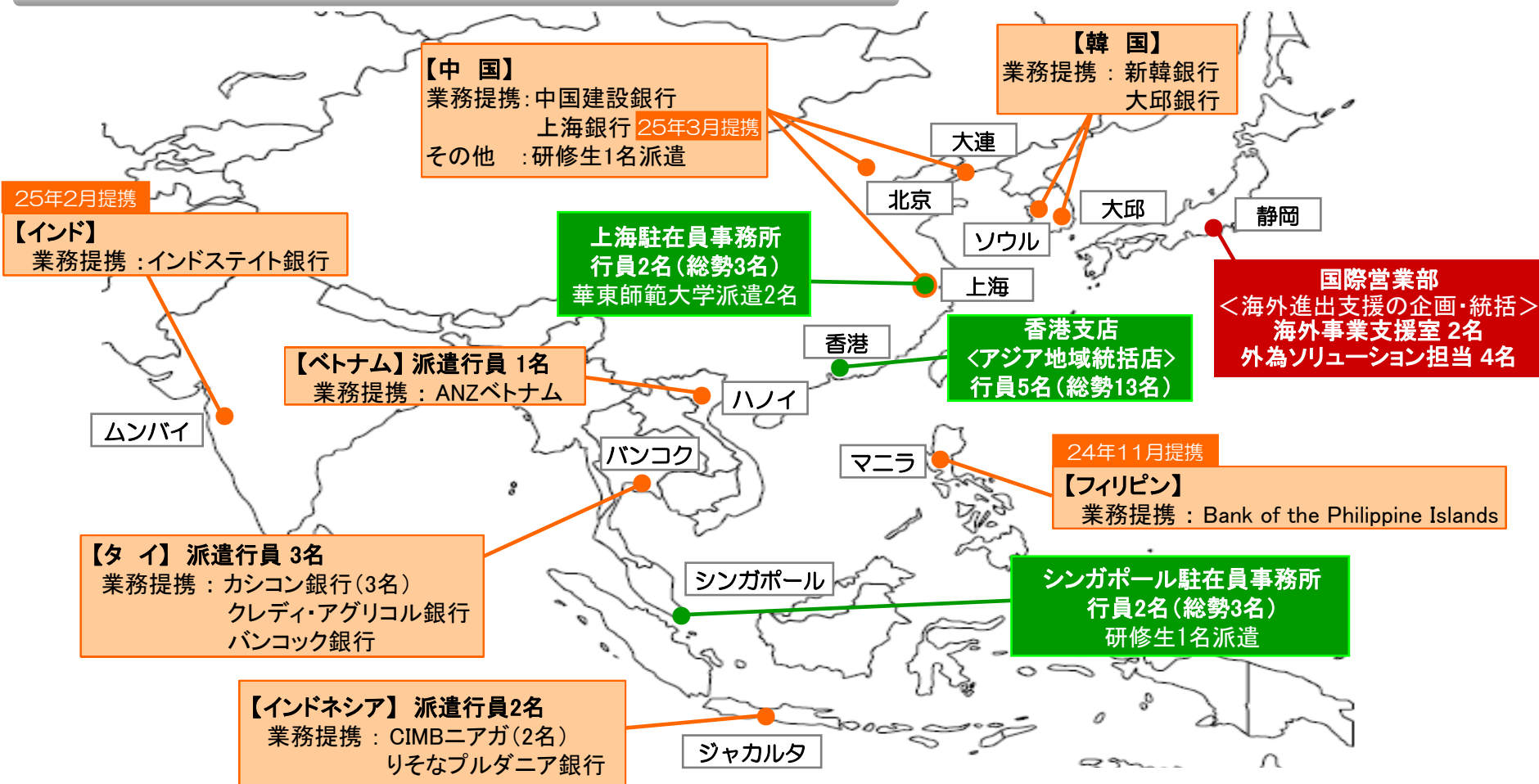
※グループ会社の静銀経営コンサルティング株式会社における実績



地域密着型金融への取組み③

- 取引先のアジアを中心とする海外進出が増加する中、静岡銀行では、現地金融機関との業務提携を通じ、取引先支援体制の整備を進めています。24年度には、新たに3行の現地金融機関と業務提携し、海外進出および進出後の事業展開を支援しています。
- また、静岡銀行では、国内営業店長等の海外視察、通学制英会話スクールをはじめとする教育プログラム など、国際分野における「人材育成」施策にも継続的に取り組んでいます。

アジアにおける静岡銀行のネットワーク（平成25年3月末現在）





地域密着型金融への取組み④

- 24年度における地域密着型金融の推進に関する主要計数は、以下のとおりです。

ライフサイクルに応じた支援強化

主要計数	24年度実績	(参考) 23年度実績
①経営改善支援取組み率＝経営改善支援取組み先(※1)数／期初債務者数（正常先除く）	1.9%	1.4%
経営改善支援取組み先数（正常先除く）	290先	221先
期初債務者数（正常先、アパートローンのみ先除く）	15,654先	16,021先
②再生計画策定率＝再生計画策定先(※2)数／経営改善支援取組み先数（正常先除く）	90.0%	83.7%
再生計画策定先数（正常先除く）	261先	185先
経営改善支援取組み先数（正常先除く）	290先	221先
③ランクアップ率＝ランクアップ先(※3)数／経営改善支援取組み先数（正常先除く）	5.2%	10.0%
ランクアップ先数（正常先除く）	15先	22先
経営改善支援取組み先数（正常先除く）	290先	221先
④創業・新事業支援融資実績 〔「開業・新事業支援に関する制度融資」の期中実行件数・実行額〕	204件／2,113百万円	304件／2,729百万円

※1 経営改善支援取組み先＊：営業店による経営改善支援先(a)＋本部による事業再生集中対応先(b)＋中小企業支援協議会の再生計画策定先(メイン取引行として対応した先のみ)

※2 再生計画策定先数＊：(a)のうち経営改善計画策定先＋(b)のうち再生計画策定先＋中小企業支援協議会の再生計画策定先(メイン取引行として対応した先のみ)

※3 ランクアップ先：経営改善支援取組み先のうち、平成25年3月末の債務者区分が平成24年3月末と比較し上昇した先

＊重複は除く



株主還元状況

- 「配当性向25%程度かつ大手地方銀行最高水準」の基本方針に則り、業績などを総合的に勘案し、24年度は創立70周年の記念配当1円を含めて、一株当たり配当額(年間)を15円とする予定です。また、25年度の一株当たり配当額(年間)は、15円を予定しています。

配当額の推移

	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度予想
一株当たり配当額(年間)	13.00円	13.00円	13.50円	※15.00円	15.00円(7.5円)
配当利回り(配当/期末株価)	1.59%	1.88%	1.58%	1.42%	—

※記念配当1円を含んでおります。

() は中間配当額

株主への利益配分の状況

(億円)

	21年度	22年度	23年度	24年度	15～24年度実績 (10年間)
年間配当額①	91	88	89	97	819(累計)
自己株式取得額②	40	150	146	82	630(累計)
株主還元額③=①+②	131	238	235	180	1,449(累計)
当期純利益④	321	354	347	409	3,203(累計)
配当性向①/④×100	28.20%	24.85%	25.54%	23.78%	25.57%(平均)
株主還元率③/④×100	40.64%	67.22%	67.60%	43.93%	45.23%(平均)



業績予想

(億円)

	24年度実績 (A)	25年度予想 (B)	前年度比 (B)-(A)
【連 結】			
連結経常収益	2,031	2,060	29
連結経常利益	713	720	7
連結当期純利益	※570	450	△120

※連結子会社に対する持分比率の引上げ及び連結子会社の完全子会社化に伴う負ののれん発生益128億円を含んでおります。

(億円)

	24年度実績 (A)	25年度予想 (B)	前年度比 (B)-(A)
【静岡銀行単体】			
経常収益	1,710	1,740	30
業務粗利益	1,463	1,452	△11
資金利益	1,203	1,180	△23
役務取引等利益	149	147	△2
特定取引利益	10	14	4
その他業務利益	100	111	11
経費 (△)	787	782	△5
一般貸倒引当金繰入額 (△)	—	△10	△10
業務純益	676	680	4
臨時損益	△24	△10	14
経常利益	652	670	18
当期純利益	409	420	11

与信関係費用 (△)	1	31	30
------------	---	----	----

＜貸出金の状況＞〔平残ベース〕【単体】

(億円未満四捨五入、増減は表上にて算出)

(億円)

	21年度			22年度			23年度			24年度			増 減			
		上期	下期		上期	下期	A	上期 B	下期 C	D	上期 E	下期 F	D-A	E-B	F-C	
貸出金		62,752	62,743	62,761	63,256	62,678	63,836	65,177	65,008	65,346	66,694	65,599	67,795	1,517	591	2,449
国内店①		61,642	61,507	61,777	62,385	61,853	62,919	64,130	64,107	64,154	65,219	64,459	65,983	1,089	352	1,829
一般貸出金（企業向け貸出金）※1		39,479	39,621	39,337	39,214	38,993	39,436	39,598	39,800	39,395	40,168	39,605	40,734	570	△ 195	1,339
うち中小企業向け② ※1		25,561	25,458	25,665	25,798	25,636	25,961	26,362	26,210	26,515	26,780	26,726	26,835	418	516	320
公共向け貸出金		1,477	1,486	1,468	1,550	1,458	1,643	2,133	2,087	2,178	2,035	2,002	2,068	△ 98	△ 85	△ 110
うち中小企業向け（公社等）③		160	144	176	175	117	234	323	316	330	298	279	318	△ 25	△ 37	△ 12
個人向け貸出金④ ※2		20,685	20,400	20,972	21,621	21,402	21,840	22,400	22,220	22,580	23,016	22,852	23,181	616	632	601
（消費者ローン） ※2		20,740	20,458	21,023	21,668	21,449	21,887	22,439	22,263	22,616	23,045	22,883	23,207	606	620	591
海外店		1,111	1,236	984	871	825	917	1,047	902	1,192	1,475	1,140	1,812	428	238	620
うち中小企業向け②+③		25,721	25,602	25,841	25,973	25,753	26,195	26,685	26,526	26,845	27,078	27,005	27,153	393	479	308
うち中小企業等⑤=②+③+④		46,406	46,002	46,813	47,594	47,155	48,035	49,085	48,746	49,425	50,094	49,857	50,334	1,009	1,111	909
中小企業等貸出金比率⑤/①		75.28%	74.79%	75.77%	76.29%	76.23%	76.34%	76.53%	76.03%	77.04%	76.80%	77.34%	76.28%	0.27%	1.31%	△ 0.76%

【静岡県内の貸出金】

(億円)

	21年度			22年度			23年度			24年度			増 減		
		上期	下期		上期	下期	A	上期 B	下期 C	D	上期 E	下期 F	D-A	E-B	F-C
静岡県内の貸出金	42,411	42,319	42,503	42,766	42,482	43,052	44,119	44,050	44,189	44,458	44,264	44,652	339	214	463
一般貸出金（企業向け貸出金）※1	23,944	24,053	23,834	23,568	23,507	23,630	23,693	23,808	23,579	23,743	23,659	23,827	50	△ 149	248
うち中小企業向け⑥ ※1	20,059	20,064	20,054	19,942	19,832	20,053	20,274	20,248	20,301	20,501	20,501	20,500	227	253	199
公共向け貸出金	1,463	1,472	1,454	1,490	1,437	1,545	2,125	2,079	2,171	1,979	1,976	1,982	△ 146	△ 103	△ 189
うち中小企業向け（公社等）⑦	151	135	167	169	111	228	319	312	326	247	257	236	△ 72	△ 55	△ 90
個人向け貸出金⑧ ※2	17,004	16,794	17,215	17,707	17,538	17,878	18,301	18,163	18,439	18,736	18,630	18,843	435	467	404
（消費者ローン） ※2	16,965	16,757	17,174	17,666	17,496	17,837	18,257	18,121	18,393	18,688	18,583	18,794	431	462	401
うち中小企業向け⑥＋⑦	20,210	20,199	20,221	20,111	19,943	20,281	20,593	20,560	20,627	20,748	20,758	20,736	155	198	109
うち中小企業等⑥＋⑦＋⑧	37,214	36,993	37,436	37,818	37,481	38,159	38,894	38,723	39,066	39,484	39,388	39,579	590	665	513

※1. 「一般貸出金（企業向け貸出金）」および「うち中小企業向け」には事業性個人貸出金を含んでおります。

※2. 「個人向け貸出金」および「消費者ローン」には、アパートローンを含んでおります。

<貸出金の状況>〔未残ベース〕【単体】

(億円)

	22年3月末	22年9月末	23年3月末	23年9月末	24年3月末 A	24年9月末 B	25年3月末 C	24年3月末比 C-A	24年9月末比 C-B
貸出金	63,014	63,730	66,592	66,091	66,949	67,911	69,940	2,991	2,029
国内店①	62,132	62,911	65,650	65,081	65,719	66,688	68,254	2,535	1,566
一般貸出金（企業向け貸出金） ※1	39,403	39,625	41,362	40,367	40,848	41,521	42,491	1,643	970
うち中小企業向け② ※1	26,161	26,489	27,727	27,435	28,284	28,116	28,305	21	189
公共向け貸出金	1,399	1,506	2,092	2,176	1,988	2,030	2,225	237	195
うち中小企業向け（公社等）③	133	179	340	296	289	313	277	△ 12	△ 36
個人向け貸出金④ ※2	21,331	21,779	22,195	22,538	22,883	23,137	23,538	655	401
（消費者ローン） ※2	21,377	21,824	22,240	22,571	22,917	23,165	23,555	638	390
海外店	882	819	942	1,010	1,230	1,223	1,685	455	462
うち中小企業向け②+③	26,294	26,667	28,067	27,731	28,573	28,429	28,582	9	153
うち中小企業等⑤=②+③+④	47,625	48,446	50,262	50,269	51,456	51,566	52,120	664	554
中小企業等貸出金比率⑤/①	76.65%	77.00%	76.56%	77.24%	78.29%	77.32%	76.36%	△ 1.93%	△ 0.96%

【静岡県内の貸出金】

(億円)

	22年3月末	22年9月末	23年3月末	23年9月末	24年3月末 A	24年9月末 B	25年3月末 C	24年3月末比 C-A	24年9月末比 C-B
静岡県内の貸出金	42,995	43,436	45,806	45,389	45,936	45,985	46,876	940	891
一般貸出金（企業向け貸出金） ※1	24,107	24,146	25,552	24,804	25,275	25,198	25,622	347	424
うち中小企業向け⑥ ※1	20,464	20,649	21,704	21,372	22,056	21,907	21,862	△ 194	△ 45
公共向け貸出金	1,387	1,446	2,084	2,169	1,977	1,946	2,142	165	196
うち中小企業向け（公社等）⑦	126	174	336	292	282	232	197	△ 85	△ 35
個人向け貸出金⑧ ※2	17,501	17,844	18,170	18,415	18,684	18,841	19,112	428	271
（消費者ローン） ※2	17,457	17,800	18,129	18,365	18,638	18,793	19,057	419	264
うち中小企業向け⑥+⑦	20,590	20,823	22,040	21,664	22,338	22,139	22,059	△ 279	△ 80
うち中小企業等⑥+⑦+⑧	38,091	38,667	40,210	40,079	41,022	40,980	41,171	149	191

※1. 「一般貸出金（企業向け貸出金）」および「うち中小企業向け」には事業性個人貸出金を含んでおります。

※2. 「個人向け貸出金」および「消費者ローン」には、アパートローンを含んでおります。

＜有価証券の状況＞ 【単体】

(億円未満四捨五入、増減は表上にて算出)

○有価証券ポートフォリオ

	22年3月末		23年3月末		24年3月末		25年3月末		(億円)	
		構成比率(%)		構成比率(%)		構成比率(%)		構成比率(%)	24年3月末比	構成比率(%)
有価証券	20,265	100.0	20,489	100.0	22,509	100.0	25,359	100.0	2,850	—
国債	5,853	28.9	8,014	39.1	11,190	49.7	13,158	51.9	1,968	2.2
地方債	1,024	5.1	706	3.4	634	2.8	427	1.7	△ 207	△ 1.1
社債	6,784	33.5	5,441	26.6	3,682	16.4	3,130	12.3	△ 552	△ 4.1
株式	2,388	11.8	2,128	10.4	2,072	9.2	2,443	9.6	371	0.4
その他	4,216	20.7	4,200	20.5	4,931	21.9	6,201	24.5	1,270	2.6
(うち外貨債券)	3,659	18.1	3,772	18.4	4,657	20.7	5,392	21.3	735	0.6
(うち投資信託)	240	1.1	270	1.3	118	0.5	666	2.6	548	2.1

○有価証券評価損益

	22年3月末	23年3月末	24年3月末	25年3月末	(億円)
					24年3月末比
その他有価証券	1,332	1,032	1,276	1,805	529
株式	1,145	903	881	1,229	348
債券	156	99	218	338	120
その他(外債、投信等)	31	30	177	238	61

※「その他有価証券」とは、有価証券のうち、売買目的有価証券、満期保有目的の債券、子会社株式および関連会社株式を除いたものをいいます。

日経平均株価	11,089.94 円	9,755.10 円	10,083.56 円	12,397.91 円	2,314.35 円
--------	-------------	------------	-------------	-------------	------------

○減損処理による影響

減損基準		(億円)
減損基準		損益への影響
●時価のある株式・債券		
期末の時価が簿価に比べ30%以上下落したもの		6.5
●時価のない株式等		
期末の実質価額が簿価に比べ30%以上下落したもの		2.3
合 計		8.8

<預金・預り資産の状況> 【単体】

○預金の状況（末残）

（億円）

	22年3月末	22年9月末	23年3月末	23年9月末	24年3月末 A	24年9月末 B	25年3月末 C	24年3月末比 C-A	24年9月末比 C-B
預金	71,977	71,637	73,530	72,909	76,741	76,983	79,325	2,584	2,342
国内営業店預金	70,268	69,805	72,388	72,197	75,855	75,681	77,478	1,623	1,797
うち個人預金	51,552	51,507	52,344	52,746	55,081	55,145	56,002	921	857
うち法人預金	16,095	16,695	17,609	17,968	18,145	19,374	19,090	945	△ 284
静岡県内預金	62,956	62,198	64,562	63,966	68,362	67,392	69,536	1,174	2,144
うち個人預金	47,247	47,269	48,022	48,459	50,691	50,815	51,686	995	871
うち法人預金	13,443	13,708	14,500	14,194	15,166	15,589	15,712	546	123
譲渡性預金	2,789	3,352	3,108	4,332	4,141	2,634	4,838	697	2,204
合計	74,766	74,989	76,638	77,241	80,883	79,617	84,163	3,280	4,546

○個人預り資産の状況（末残）

（億円）

	22年3月末	22年9月末	23年3月末	23年9月末	24年3月末 A	24年9月末 B	25年3月末 C	24年3月末比 C-A	24年9月末比 C-B
個人預り資産残高（銀行本体）	61,370	61,423	62,411	62,851	65,797	66,007	67,773	1,976	1,766
円貨預金	51,221	51,179	51,991	52,412	54,736	54,828	55,647	911	819
譲渡性預金	7	6	7	1	1	1	1	—	—
外貨預金	331	328	353	334	345	317	355	10	38
投資信託	160	145	148	135	144	131	153	9	22
公共債	4,199	4,070	3,863	3,723	3,465	3,184	2,906	△ 559	△ 278
個人年金保険	5,453	5,696	6,049	6,246	7,106	7,546	8,711	1,605	1,165
静銀フィード証券の個人預り資産	3,208	3,198	3,385	3,251	3,559	3,468	4,126	567	658
静銀フィード証券を含む個人預り資産	64,578	64,621	65,796	66,102	69,356	69,475	71,899	2,543	2,424
うち円貨預金・譲渡性預金除き	13,350	13,436	13,799	13,689	14,619	14,646	16,251	1,632	1,605

<平成25年3月末の自己査定結果、金融再生法開示債権、リスク管理債権> 【単体】

- ・ 総与信に占める金融再生法開示基準による不良債権の割合2.87%（部分直接償却を実施した場合の総与信に占める割合2.74%）
- ・ 貸出金に占めるリスク管理債権の割合2.91%（部分直接償却を実施した場合の貸出金に占める割合2.79%）

(億円)

自己査定における債務者区分		自己査定分類区分（対象：貸出金等与信関連債権）				担保・保証等による保全額	引当額	保全率	金融再生法に基づく開示債権 対象：要管理債権は貸出金のみ (その他は貸出金等与信関連債権) うち私募債	リスク管理債権 対象：貸出金
破綻先 66 〈36〉		50 〈20〉	15	- (5)	- (30)				破産更生債権及び これらに準ずる債権 349 〈264〉	破綻先債権 62 〈36〉
実質破綻先 283 〈228〉		213 〈159〉	70	- (31)	- (54)	228	121	100.0%		延滞債権
破綻懸念先 1,505 〈1,499〉		1,145 〈1,138〉	196	164 (98)		1,243	98	89.1%	危険債権 1,507 〈1,500〉	1,784 〈1,724〉
要 注 意 先	要管理先 219	12	206			要管理先の保全額 122	14	62.1%	要管理債権	3カ月以上延滞債権 19
						要管理先のうち要管理 債権に対する保全額 102	12	59.9%	(貸出金のみ) 190	貸出条件緩和債権 171
	要管理先 以外の要 注意先 9,926					要管理先のうち要管理 債権以外の保全額 20	2	75.9%		合計 2,036 〈1,950〉
10,145		4,500	5,426			要管理先以外の要 注意先保全額 6,790	211	70.5%	正常債権 69,121	
正常先 58,925		58,925					180			
合計 70,923 〈70,832〉		非分類合計 64,845 〈64,754〉	Ⅱ分類合計 5,914	Ⅲ分類合計 164 (134)	Ⅳ分類合計 - (84)		合計 623		合計 71,166 〈71,075〉	
									241	
									243	

- ※1. 貸出金等与信関連債権：貸出金、支払承諾見返、外国為替、未収利息、貸出金に準ずる仮払金、クレジットカード未収金
2. 自己査定分類区分における（ ）内は分類額に対する引当額です。破綻先・実質破綻先のⅢ・Ⅳ分類は全額引当しております。
3. 当行は部分直接償却は実施していませんが、実施した場合の与信残高を〈 〉内に記載しております。部分直接償却 91億円
4. 要注意先については、当該先の与信残高から保証協会保証・預金担保等（優良担保・優良保証）を控除した額をすべてⅡ分類としております。
5. 正常先については、国・地公体向けの非区分債権が含まれております。
6. 金融再生法開示債権には、時価評価をした銀行保証付私募債が含まれております。

<債務者区分の遷移状況（残高ベース）> 【単体】

【24年3月～25年3月】

（億円）

		当初残高 A	25 年 3 月 末							デフォルト額	デフォルト率	個別貸倒引	繰入率
			正常先	要注意先	要管理先	破綻懸念先 B	実質破綻先 C	破綻先 D	その他	B+C+D E	E/A	当金繰入額 F	F/A
24 年 3 月 末	正常先	54,889	50,602	1,328	25	28	16	16	2,873	61	0.11%	24	0.04%
	要注意先	10,710	1,235	8,864	38	233	38	40	262	311	2.90%	47	0.43%
	要管理先	211	11	19	155	13	1	－	11	15	7.10%	2	0.94%
	破綻懸念先	1,603	5	186	7	1,262	57	10	76				
	実質破綻先	415	2	11	1	47	219	11	123				
	破綻先	90	2	0	－	3	－	14	71				

【23年3月～24年3月】

（億円）

		当初残高 A	24 年 3 月 末							デフォルト額	デフォルト率	個別貸倒引	繰入率
			正常先	要注意先	要管理先	破綻懸念先 B	実質破綻先 C	破綻先 D	その他	B+C+D E	E/A	当金繰入額 F	F/A
23 年 3 月 末	正常先	54,170	50,212	1,695	49	37	12	13	2,152	62	0.11%	11	0.02%
	要注意先	10,785	1,489	8,727	33	255	38	44	197	337	3.12%	32	0.29%
	要管理先	219	8	44	130	8	11	10	9	29	13.24%	14	6.39%
	破綻懸念先	1,698	5	159	5	1,320	101	17	92				
	実質破綻先	462	2	11	1	18	310	8	111				
	破綻先	88	-	3	-	5	1	38	42				

- ※ 1. 計上基準：与信残高は23年3月末、24年3月末の残高を使用し、24年3月末、25年3月末までの間の与信額の増減は考慮していません。
2. その他については24年3月末および25年3月末時点で取引解消、オフバランス化しているものを計上しています。